



拡大学校評議員会を開催しました

2月27日(木)第3回学校評議員会を兼ねて「拡大学校評議員会」を開催しました。学校評議員の方々だけでなく、自治協議会会長や防犯協会会長、公民館連合会会長等の地域の方々や保護者代表、行政からは秋津まちづくりセンター所長等の参加をお願いして、開催をしました。

この会は、めざす子ども像に向かって学校の中で教職員だけが取り組むのではなく、子どもを真ん中にして保護者の方々、地域の方々も一緒にビジョンを共有し、子どもたちの更なる成長のためにご協力をいただきたいということで開催しました。

保護者と地域と共有するビジョン！

昨年の12月に4年生以上の児童、保護者、教職員に学校評価アンケートを取っています。その結果の1つが右のグラフです。実は、10項目あるアンケートの結果の中で、唯一、児童の肯定的評価が70%と低かったのが、この項目でした。他の9項目は、全て80%以上あります。

子どもたちにとって、「学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりしている」実感が薄いということが分かります。

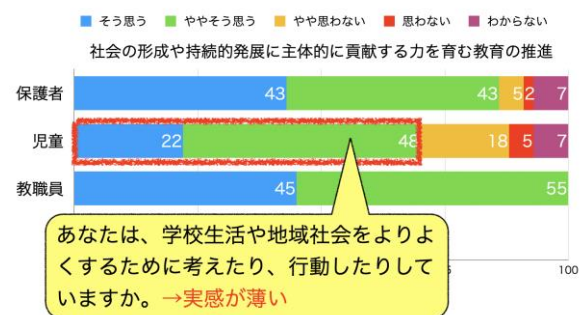
もちろん、教職員や保護者の方々は、子どもたちの頑張りを肯定的に見ています。実際、この「学校だより」でもたくさん子どもたちの「気づき、考え、行動する」姿を綴ってきました。子どもたちに「できていること」を価値づけて褒めることがより必要ですが、学校生活だけでなく地域社会への貢献を体験することも大切だと考えています。

今回の「拡大学校評議員会」は、そのための協力をお願いも兼ねています。子どもたちは、本当に秘めた力を持っています。その力を「認め、励ます」声かけをご家庭でも、地域でもできていくと、子どもたちはもっと自信を持って、力を発揮していくのではないかと考えています。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。(この他の令和6年度の学校評価の結果については、HPIに掲載しています。)

[639881964.pdf \(kumamoto-kmm.ed.jp\)](https://www.kumamoto-kmm.ed.jp/639881964.pdf)

いじめ防止等対策委員会も開催しました

同日、学校評議員の方々やPTA 役員の方、吉川スクールカウンセラー、学校関係者(管理職、生徒指導主任、人権教育主任、養護教諭)の参加でいじめ防止等対策委員会を行いました。今年度の成果としては、教職員が共通理解のもとチームとして子どもたちに対応していること、人権教育を基盤として子どもたちの声をしっかり受け止めようとしていること等をあげていただきました。また、課題としては SNS の問題や、子ども同士のつながりを持つためのスキルの向上等をあげられました。今後も子どもたちの様子を丁寧に見守りながら、保護者の方々とも連携して取り組んでいきたいと思っております。何か気になることがありましたら、お気軽にご相談いただきたいと思います。



令和6年度 学校評価の結果より